

広報

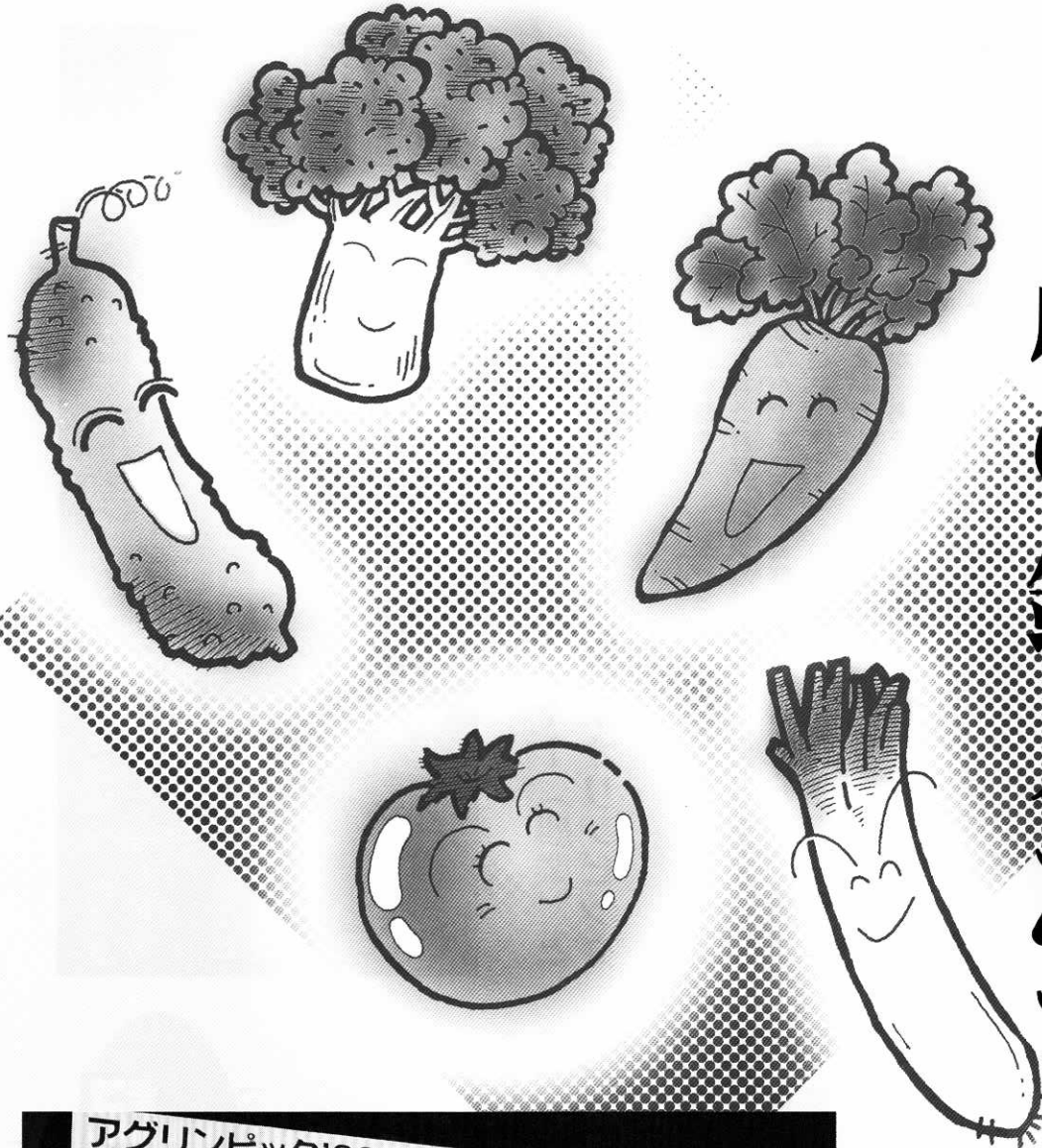


# たかのす TAKANOSU

平成10年  
しも霜 つき月

いのち育てる

農の鉄人たち



'98 11/15



あきた北空港開港記念

FARMERS  
BE  
AMBITIOUS!

# アグリンピック'98

## 明日の農業への布石

10月17日、アグリンピック'98がたかのす風土館を会場に、約500人の町内外の方々が参加し、「明日の農業への布石 FARMERS BE AMBITIOUS」をテーマに開催されました。併優でエッセイストでもある渡辺文雄氏が「ふるさとめぐりで出会った日本の食と農業」と題し、記念講演。また、農山漁村女性生活動推進機構理事長の大島綾子氏をコーディネーターに、厳しいといわれる農業情勢の中、ユニークな取り組みや先見的な視野で、創意工夫しながら前向きに農業に取り組んでいる8人のパネリストによる報告が行われました。今回はその概要を紹介いたします。

FARMERS  
BE  
AMBITIOUS!

アグリンピックはアグリカルチャー（農業）とオリンピックを掛け合わせた農業オリンピック

農業関係者が集まり農業の話をすると、不安だとか心配だと言う言葉をよく聞きます。そんななかでも、国内には農業で大変な収益を上げている方がたくさんいる。というところ、それはどここの誰だとか、あそこの地域だからできると考えるかもしれませんが、最初はみんな大変な努力と苦勞を繰り返しながら、徐々に成果をあげていった。鷹巢の農業者の方々も必ずできるはずですよ。

今日開催するアグリンピックは、アグリカルチャーつまり農業とオリンピックを掛け合わせた農業オリンピックでありますが、その中でも最も優れたゴールドメダリスト8人をお呼びしています。今日はそういうすばらしい経営をされている方の話

を聴き、今後の収益につなげてもらい、また、彼らとの出会いを大事にして、視察や研修など色々な交流を続けていってほしいと思います。



主催者あいさつをする岩川徹鷹巢町長

### 記念講演

演題

「ふるさとめぐりで出会った日本の食と農業」

併優、エッセイスト

渡辺 文雄氏

30年間テレビで旅の番組をやってきました。農村部に行くと、日本の農業はかつてない大変な状況になってきていると感じます。そういう状況に対してただ愚痴をこぼすだけの人もいるし、愚痴なんかこぼす暇もないくらい努力されている方もいる。また、なるほどと思うようなすばらしい仕事をしている人もいます。今日は取材旅行で出会った様々な人の話をさせていきたいと思います。

FARMERS  
BE  
AMBITIOUS!

安全でおいしくて安いものという無理なこと

消費者と生産者には相当のギャップがある。消費者の欲しいものは、安全でおいしくて安いもの。生産者の方も、安全でおいしくて安いものを作りたいという。しかし、私が今まで見た限りではこれはありえない。消費者は無い物ねだりをし、生産者はそういうものを作るのが無理なの



渡辺 文雄氏  
(俳優、エッセイスト)

にそう言うてしまう。生産者にそう言わせている日本の構造が問題。

八郎潟の方で、サラリーマンから米作農家になった人の話をします。

今の米作りは人の育て方に似ているそうです。昔の子供は、丈夫に生んで丈夫に育てないためだった。今は、薬の進歩がすごい。昔と大違い。今の米の作り方がこれにすごく似ている。今は米の基礎体力をつけず、ちよつと弱っただけで薬を使い強引に育てる。そういったことがおかしいと思い、サラリーマンをやめ米作農家になった。その人は、山から土を採ってきて、それに様々なものを混ぜて、その人がいう「土こうじ」をつくる。そしてこれをベースとして米作りをする。イネの基礎体力を作るため、苗床にかなりの労力をさく。また、彼は田んぼを密植しないそうです。なぜかというと、味の本体は土にあるからだそうです。1反歩の田んぼの味の総量は決まっている。それを何粒に分けるかが問題だそうです。その方は、一番おいしい米は反6俵の時だったので、反8俵にしているそうです。味あわせていただいたが、本当においしい。この米なら少々高くても買いたいなと思つた。本当においしいものは手間がかかるから高い。だから安くてもおいしいものなんて存在しない。安くてもおいしいものは無い物ねだりだと消費者にいいたい。



## 何のためにどんな工夫をするのか？

村おこしが一時期大変盛んにいわれるようになった。しかし、当事者に村おこしとは何ですかと聞いてもはつきりした答えが返つてこない。後継者は欲しいが、お金の話になるとリストラが必要だという。それでいて村、町が活性化して欲しいという。そう言う矛盾したことを平気という。

岩手県葛巻町で経験した話をします。この町に第三セクターの酪農公社がある。ここは、全員若い人たちが経営していて、とにかく仕事の種類が多い。本体は酪農だが、その他に羊カモ、ニワトリなどを飼っている。

牛の初乳は栄養が抜群だが、商品価値がないので捨てる。この公社は、これを近くの酪農家から集めている。製薬会社では薬の原料として、この初乳を輸入していると聞いて始めた。取引にはある程度の量が必要なので、近くの酪農家から集めているそうですが、集めるのが大変で、もうけもかなり少ないみたいです。その他、味はいいが人手もかかるフランスカモを飼っている。ニワトリも南部コーチンというのを放し飼いにしている。卵も肉も穫れるが、手間がかかり、一番困っていることは、卵を拾うことだそうです。この解決方法は、アケビなどのツルを山から採ってきて

カゴをつくり、1個千円で観光などで来る人に買ってもらい、買った人に自由に卵を拾ってもらっているそうです。カゴのほかに卵を拾えて喜んでもらえているということです。その他いろいろな工夫をしている。しかし、その工夫は、人手を減らす工夫ではなく、新しい仕事を作り、新しい仕事ができたら、東京などに出ていった昔の友達に電話し帰ってきてもらえる受け皿をつくる工夫を考えている。この公社の若い人たちの村おこしは、つまり人を増やすこと。あれもこれも欲しい村づくりではなく、若い人が戻ってきて働ける場を作る。この一点だけを目標にしていた。目標を具体的にわかりやすく持たないと、本当の元気が出てこないのではないかと、もう一点具体的な例をお話しします。群馬県中之条町の沢田地区に沢田農協というのがあった。その農協に20年ほど前に訪れた。同じ頃、全国規模の品評会を取材したとき、同じような漬け物が並んでいた。もつと違うものをやればいいのにと思つた。沢田農協も漬け物をやっていた。しかし、材料に他で使われていない「ハヤトウリ」を使っていた。問題は、その先、流通であった。スーパーなどと契約するとき、必ず安定供給というものが条件になる。でも現実には一農協だけでは絶対に無理。しかし、沢田農協は安定供給を断つた。そしたら契約できなくなりました。



まさこ  
大島 綾子氏  
農山漁村女性活動推進機構理事長

それで、近くに国道があつて、そこ観光バスも走っていたので、売店を作つて直売した。これだと売り切れても何とかなる。安定供給に縛られない。後は口コミ、宅配などで対応。ただ他と違うことは、味を落とさないための会議を常にしていた。他ではどうやったらもつと売れるかを考える。でも、おいしければ売れる。そうするとまた来てくれる。それで、一農協で売り上げ10億円を達成した。その他、群馬県の下仁田にあるコンニャク屋の話をしします。コンニャクは、その辺に置いていても半年くらい腐らない。その人は、ある時、半年も腐らないコンニャクを食べているのはおかしいと思つた。それで、3日で腐るものを作ろうとした。当然周りの人はその人がおかしくなつたと思つた。コンニャクは固まりやすくするためにカセイソーダをいれる。これを少なくすると腐りやすくなる。しかし、少なくすると、当然固まりにくくなり、仕方なく手の中でギョツと絞つたら笹かまぼこのようなコンニャクができた。それを、「手のしコンニャク」として売つた。普通のコンニャクよりはるかに高いが、味はびつくりするくらいおいしいので大変売れ、周りの人がみな作るようになった。逆転の発想だと言う人もいたが、そうではなく、コンニャクは食べ物であるという考えからだ。食べ物だから安全でおいしくなけれ

ばいけない。少々高くなるがおいしくて安全でないといけないと思つたから、大当たりした。

戦後、我々がずっと考えてきたものの考え方を変えていかないといけないのでは。売れない売れないでなく、考え方を変えないといけない。では、どこを変えればいいのか。それは、そのものの本質を見出すことだ。例えば、米は食べ物であるといつたようにものの本質を見極めるのが大事である。また、食べ物をもう一步踏み込んで考えてみる。食べ物、食ベるとは、それはつまり命です。米を育てることは命を育てる事。いくらもうけるかだけにピントをあてると、路地の行き当たりに行つてしまう。ものの本質をもう一回じっくり見直してみる時期が来ている。

最後にもう一つ、皆さんに取り戻していただきたいのは、農業者のプライドです。これがあれば、後継者もついてくる。百姓とは、百の能力を持つ者という意味。だからもつとプライドを持つて欲しい。

どうもありがとうございます。



## コーディネーター あいさつ 大島綾子氏

今、農業のあり方が大きく変わろうとしています。現在、国では農業の新しい基本法の答申がだされてい

ます。私が答申を読んで、何を考えたかをお話ししたいと思います。

この答申で座長の木村尚三郎さんが、「農業は暮らしと命の安全と安心を基本にする産業」だと非常に強調されていた。ぜひいたくなことのように聞こえるかもしれないが、ただ食べ物であればいいというだけではなくなつてきている。さらに、暮らし。これと、農業・農村を結びつけていかなければならない。このことがやつと答申の中に入つてきた。

その他、食生活がどうあればよいかという国民レベルの運動を起こさないといけないと書いてあつた。大賛成である。また一方で、食と農業の現場の距離が開いているといわれるなか、農というイメージが変わつてこないと本場の誇りにならないのではないか。この距離を縮める必要があると思う。

二番目は、生産も加工も流通も多様なものを認めるべきであると書いてあつたこと。これまでものの豊かさを求め続けてきたが、豊かさとは一体何か。一つの考え方として、農業においても、生産、加工、流通の中に多様なものがあるということではないか。

もう一つは、多面的な機能を十分に発揮するということである。このために、国民の十分な理解と支援・参加が必要であると明記してあつた。今後これらがどう施策及び法律に

# 全国から集った ゴールドメダリスト 農業の鉄人たちの報告

反映されていくか見守る事が大事。もうけだけに目がいつていた考えを変え、生活という視点を取り入れ、今後、農業者と一般の消費者が一緒になってどういうことをやるべきかを考えないといけない時期では。各地でそういう動きがあり、そういうことを大いにやれば変わることができると思う。



## パネリスト報告

### 『那須の白美人』ネギの

### 産地化をめざす

JAなすの課長補佐

渡辺照男氏(栃木県大田原市)

当初は園芸をすすめると反発があったが、現在は、収益を上げるには野菜しかないという感じ。しかし品質の向上をどうするのが課題。

ネギは10年前に調査。減反の中で、どう農家の方々に自信を持たせられるのか。その不安を解消するため、詳細なマニュアルの作成に取り組み、さらに品質の統一化を図る。地道に地区ごとに技術指導や土壤診断に懸命にまわった。今後は、積極的に啓蒙をはかり、さらなる栽培者の拡大、後継者対策、定年退職者を大事にして、将来は作付面積を100haにしたい。

### 有機農業に取り組んで

JA山武郡市睦岡支所長

下山久信氏(千葉県山武町)

ニンジンが国の指定産地。しかし長年の連作により土壤消毒なしでは栽培が不可能という状況になる。消毒にもかかわらず直らず、また農家の人たちは農薬中毒の心配もあった。それから化学肥料や農薬に頼らない農業を考えるように。昭和63年に有機部会を設立し、実験を始めた。栽培を開始にあたり①ほ場毎の地の番の登録と看板を設置②化学肥料は使用しない。③除草剤は使用しない。④土壌消毒剤は使用しない。⑤農薬は原則として使用しない。以上の5項目を大きな約束事として進め、現在、部会全体で50種類以上の野菜を生産、一人当たり最低でも5品目以上、多い人は20品目近く作付け、できたものが消費者から「おいしい」との評価をいただき励みとなっている。今後は、農薬・化学肥料に頼らない環境保全型農業を地域の中で拡大していきたいと思っています。

### キュウリを中心とした

### 周年栽培の実践

JA秋田おばこキュウリ部会長

田口勝久氏(秋田県六郷町)

当時は病気や台風で思うような収穫・収益を上げることができなかった。それでも、つるが伸び花を咲かせて実を付けるキュウリの生命力に勇気づけられ、規模拡大を決心。翌年には15aに拡大し、作期の延長と品質の向上を目指し、70坪でハウス、半促成、抑制栽培を試験的に始める。昭和58年、第106回秋田県種苗交換会のキュウリ部門で知事賞を受賞。「農業で飯を食いたい。夫婦二人で仕事をしていきたい」とキュウリを主体とした青果物と稲作の複合経営で、自立專業農家を目指す。パイプハウスを少しずつ増やし、雨よけハウス、ソウや切りミツバ、ダイコン葉、さらには花き等様々な作目に挑戦、1年を通して農業ができる体系を試みるようになった。平成2年に、全面積ハウス栽培に切り替え、現在の経営基盤を確立。平成5年には、キュウリの半促成、夏秋、抑制栽培を中心に、ホウレンソウ、花き、野菜育苗により、ほぼ年間を通してフルにハウスを活用した周年栽培体系を確立し、農業収入だけで生活できるようにになった。今後は、いろいろな形で農を通じた教育活動による地域の活性化に取り組み、都市農村交流やグリーンツーリズム、農業体験の受け入れをさらに充実させていきたいと思っています。

昭和56年に町の転作推進作物である露地キュウリの栽培を6aで開始。



## 21世紀型農業への挑戦「ハ ツラツ農業」集落営農型水 田農業の確立

曾根残地営農組合組合長  
坂田毅氏(岡山県岡山市)

岡山市曾根地区は、海拔0m地帯であるため適当な転作物が見つからず、個人転作での保全管理がほとんど。地区内関係者が発起人となり、10数回にわたる話し合いを繰り返して集団転作に取り組むことに。関係機関と中核農家の間で協議し、地区内を3ブロックに分割して転作物を団地化するブロックローテーション方式による大豆・水稲・ビール麦の栽培体系を計画、平成元年に地区内の18戸の農家による曾根残地営農組合を設立。そして、地区内水田の約24haを3分割し、転作のブロックローテーションを行う。水稲の用水期にはポンプによる強制排水で乾田化、また、大豆部会を結成し集団栽培を行っている。その他、独自の互助制度もつくり、転作をしやすい制度にしている。

今後は集団営農型農業を目指し、無人ヘリによる農薬散布、フェロモントラップによる害虫の防除、大豆の不耕起直播試験などさらなる低コスト生産への取り組みをしていきたいと思っています。

## 『リンドウ』生産の取り組み JA新いわて西部地域花き 生産部会長

畠山正徳氏(岩手県安代町)

水田転作が始まった昭和46年、農業改良普及所から共同プロジェクトとしてリンドウ栽培をやってみないかとの指導があり、花で飯の食える農業を夢見て取り組むことに。若者たちの話に親たちは、「食い物でもないものを田んぼに作るなんてとんでもない話だ」と猛反対され、最初失敗の連続だったが、苗づくりに成功し、安代町花き園芸生産部会を設立。48年に初出荷にこぎ着け、10a当たり約40万円の売り上げとなり、他作物の単収と比較してとても良く、以後、若い部員たちの産地作りに向けた積極的な取り組みが始まる。

最初に行ったのが苗の共同育苗による全面供給。作付けする人を安易に拡大せず、栽培技術の習得に真剣に取り組んでもらうよう工夫した。そのほかにも取り決めをし、品質のレベルアップにつなげて行った。現在、安代町の花き総販売額は約13億円(うちリンドウ11億3千万円)に達し、一市町村のリンドウ生産額としては日本一の産地に成長。

今後の課題として、次世代の育成、地域ぐるみ農業の推進、地域の氣候風土に適した高品質品種及び耐病性省力型品種の開発などに取り組み、

更なる飛躍のために若者たちが活躍する地域ぐるみ農業の姿を実現していきたい。

## 土遊農(DOYOUKNOW) 農業の楽しさと文化を大切にし た『さんかく山の里』づくり 大塚園 大塚克明氏(静岡県藤枝市)

農業を使って栽培するのに抵抗感があり疑問を感じていたところ、一部の消費者の方々が見かけより中身が確か、より安全な農産物に目を向けていることを知り、作りがいのある本当においしい農産物を作りたいこうと、低農薬・一部無農薬の有機栽培を本格的に始める。

販路づくりと併せて、安全性の高い栽培方法を取り入れる。農産物のオリジナル化を大事に、ネーミングにもこだわった。「グリーン茶」(無農薬緑茶)、「健紅茶」(無農薬国産紅茶)、「素肌美柑」(低農薬ミカン)、「活緑レモン」(低農薬レモン)、「100%ぜんぶみかん」(100%ミカンジュース)など作る人の思いが一見してわかるように工夫した。

また、資源略奪型農業から自然循環・環境保全型農業を自分たちの地域にあったやり方で押し進めるため、「さんかく山の里づくり」を始めた。平成8年夏には、助宗地区にすむ同年代の農家6人で「がんまめファミリー倶楽部」の活動を本格化。手打ちソバ道場や炭焼きがまの再興、イ



チゴ狩り・たけのこ掘り、無農薬有機米「難草・里味発見田」作り、早生ミカン狩り、無農薬新茶摘み体験などの活動を通し、消費生活者との交流をはかり、農文化の大切さを知ってもらおうことを大きな目的としている。イベントの際に出す農産物の人気は高く、農業への理解がベースになり消費に結びつけば販路拡大への波及効果も期待できると考えている。今後、消費者側の助言を受けながら、さらに厚みのある事業にしたいと構想を膨らませています。

## 地域に根ざした有畜複合経営 有機リサイクル農業による

生産から販売まで  
有限会社永井農場取締役  
永井進氏（長野県東部町）

有機リサイクル農業の実践は、稲作で発生するもみ殻やワラを家畜用に活用し、家畜から出る牛糞を1年かけて完熟させ、堆肥としてほ場に還元している。（10a当たり2トン）。平成8年に、永井農場として法人化した。が、「いっしょにやる人を探したい」「安心して仕事を任せてもらえるようになりたい」「仕事をさせていたただく兼業農家でも主体性をもつてできるように」と考え法人化した。

そして、「自分で作ったものは自分で売らなければ」と仕掛けを考え、現在は、パソコンを使った顧客のデー

ターベースの活用により、産地直売が8割で、2割がスーパー・小売店となっている。

今まで付加価値として、有機低農薬を考えてきたが、最高の付加価値とは、作っている環境そのものではないかと考えている。「ここいいところですね」といわれるような、環境づくりがとても大事なのではないかと考え、「環境保全型農業」を実践していきたい。また、法人として、深刻化している「高齢化・兼業化」に対応した農作業の受け皿（作業の請負）となり、地域と共に歩んでいける経営体を目指しています。

## 全戸参加型の一集落一農場方式に取り組んで 大区画ほ場整備を

契機として  
今在家地区営農組合長  
金築明雄氏（島根県斐川町）

集落営農への歩みは、ほ場整備事業を契機に整備後の営農のあり方を、地区4つの集落からの代表で営農部会「検討委員会」を設置し、農家の意見集約等の検討から始まった。

検討の結果、「全戸参加型の一集落一農場方式」として低コスト化を目指し、関係農家全戸参加のもとに組合を運営していくことになった。

集落営農の良かった点は、作業時間が短縮され余暇時間が増えたこと、若い人たちの関心が生まれ営農に参

加するようになったことで集落が活性化したことです。

今後は、なお一層の省力営農の実現を目指したい。土地所有の意識が強い当地方で「畦を取り払う」ことは極めて困難であり、換地に多大な労力を要したが「良かった」と実感しています。

## FARMERS BE AMBITIOUS! コーディネーター 総評・まとめ

最後に三点ほどまとめさせていただきます。

一つは、これからはものを売る感覚を養うことが重要ではないか。ものを売ることは、結局は自分自身を売ることで、自分がどんな経営者であるかは自分で考えていかなければならない。

二つめは、農業も情報公開しないといけない。個々の経営でも家族協定などにより、ガラス張りにならないといけない。また、自分たちの経営も消費者に公開しないといけないのではないか。

三つめは、これからは都会の人をいかに呼ぶかが大事になってくる。鷹巣は空港もできたので、どう人を呼ぶかが鍵になる。

みなさんどうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

# 第5回 全国在宅ケアサミット

## わがまちの介護サービスは



10月9日と10日の2日間にわたり「第5回全国在宅ケアサミット in たかのす」が、たかのす風土館と広域交流センターを会場に開かれました。介護保険制度と痴呆性高齢者ケアの今後の方向性を探るため開催されたこのサミットには、全国各地から約千人の人たちが出席しました。

国内外からたくさんの方々が、医療・保健分野の専門家を招いて、数多くの講演やパネルディスカッションが行われましたが、その様子を前号に引き続き掲載します。

今号では、さわやか福祉財団理事長の堀田力氏による特別講演『介護保険と市民の役割・行政の役割』、デンマーク・プライエム「カリタス」施設長のピエギット・ミケルセン氏を講師に、デンマーク社会研究協会理事長の片岡豊氏の司会・通訳で行われた講演『痴呆性高齢者の暮らしとサポート、プライエム「カリタス」での実践』、ジャーナリストで大阪大学教授の大熊一夫氏、デンマーク・

オーフス市高齢者委員会委員長のトールベン・ブランディ・ニールセン氏、オーフス市保健福祉課長のキャステイン・ヨーゲンセン氏をパネリストに、片岡豊氏の通訳により行われた特別企画『デンマークと日本、地方自治と福祉政策』、スウェーデン痴呆症協会理事長のステイナ・クララ・ヒュルストロム氏を講師に、建築家で京都大学教授の外山義典氏の通訳により行われた基調講演『痴呆性高齢者のデイケアとグループホームケア』について、概要を紹介いたします。

### 特別講演

### 『介護保険と市民の役割・行政の役割』

堀田 力氏

私は、ボランティアを推進している立場から、介護保険の心といったものについてお話ししたいと思います。公的介護保険のメリットは、今までのやってあげるといふ措置型から、権利としてやってもらうという対等の関係の仕組みになることです。しかし、私が心配するのは、果たしてこの仕組みがうまく実現するだろうかということ。都市部など人口が密集している地域は、事業者間の競争によりサービスがどんどんよくなる可能性があります。しかし、人口密度が低く競争のない地域では、営利を目的にした事業者が独占的に行い、サービスが薄くなっていくことが考えられます。これでは、今までの措置型と同じようなことになりません。そうならないうちにも、行政としてはボランティアや家族の方からきちんと情報を集めて、サービスを受ける人のための介護保険になるような仕組みをつくってほしいと願っています。

行政の役割は、専門的な技術、知識、責任感を身につけた人たちがサービスを提供できる仕組みをきちんとつくっていくことです。市町村間で大いに競争し合っていて、いいサービスを充実させてほしいと思います。介護保険は、あくまでも身体の不



さわやか福祉財団理事長  
堀田 力氏



自由をおぎなう制度です。このサービスだけでは、心まで満ちたりた幸せな暮らしはできません。

それには、生活の援助や心の交流、心のケアというサービスが必要になります。介護保険の枠外とされる給食サービスや移送サービスなども、本人のために必要です。これはまさに、市民の役割、家族やボランティアの役割であるといえるでしょう。

そして、このような市民の活動についても行政は目を向け、心を持った人たちの自発的な活動を後方から支援していただきたいと思います。

介護保険適用枠内のサービスと、市民による枠外の活動とが車の両輪となり、両方のサービスが連携して提供されるような仕組みがつくり出されてはじめて、住民は身体も心も安心して生活できると考えています。

公的介護保険制度は、決して行政の責任だけでできるものではありません。市民が自分たちのものだとして認識し、積極的に参加してはじめて、介護保険が本当の権利を守るためのものになってきます。

行政ができるのは、きちんとした仕組みづくりであり、それを動かし、中身を充実させるのは市民である。そういうことをきちんと認識して、公的介護保険がすばらしい制度になるように、みんなががんばっていかねばと願っています。

講演

『痴呆性高齢者の暮らしとサポート  
「プライエム」カリタス』での実践』

ビエギット・ミケルセン氏

デンマークにおいて痴呆性高齢者は、1985年までは精神病院に入院していました。当時はビジョンのない、病気に焦点を合わせた考え方で、痴呆性高齢者をただそこにあずかっているだけという状態でした。

多くの人たちは、そんな生活に挫折感を感じ、病院の職員も目の前にある大きな問題に対しては無力感でももすることはできませんでした。

そこで私たちは、在宅に近い環境で痴呆性高齢者を介護することによって、精神病院に入院させる必要がないようにしなければならぬと思うようになりました。

私が施設長をしている「プライエム「カリタス」」では、精神病院での考え方とは違い、健康の面に焦点を合わせたサービスの提供を考えました。ここでは、他の人と交流したりひとりきりになれるような高齢者一人ひとりに合わせた居住環境や、時間的なゆとり、そして質の高い生活を提供する努力をしています。

私たちには、一人ひとりの高齢者が持っている価値観、人生の中身を知ることができるようなゆとりが必要で、そして、重度の痴呆性高齢者でも尊厳を保った生活がおくれる



デンマーク・プライエム「カリタス」  
施設長  
ビエギット・ミケルセン氏

ような努力をしなければなりません。今では、私たちがこれまで蓄積してきた知識を他の施設や人々に広げることによって、地域でより重度の方々のお世話もできるようになってきています。

痴呆性高齢者の暴力や徘徊などの問題行動は、住んでいる環境や介護職員の知識不足に原因のある場合が多いのではないかと思います。現在「カリタス」には、自分の人格を保っていることによりいろいろな問題行動をおこし、地域では解決できないような方々が入居されます。

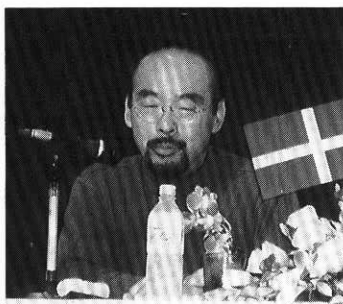
そのような方々を介護するためには、職員としても、専門的な知識と安心感を与えるような対応の仕方が要求されます。それとともに、ひとり散歩したりできるような、それまでの生活空間にできるだけ近い居住環境も必要となります。

また私たちは、痴呆性高齢者一人ひとりの個人史や生活の情報を把握することによって、彼らの日常生活をつくりあげるようにしています。

私は、まず痴呆性高齢者のために全力をつくし、そこで得られた知識をできるだけ多くの人に知っていただき、今後の介護にいかしていただくと思っています。

そこで必要なのは、愛情であり、ひとりの人間として尊重されることです。そして、温かく、ゆとりのある生活環境なのです。

今回ここにお集まりの皆さんが蓄積される知識が、これから日本に広まっていくことを期待しております。



デンマーク社会研究協会  
理事長  
片岡豊氏

特別企画  
『デンマークと日本、  
地方自治と福祉政策』

大熊氏 人口28万人、デンマーク第二の都市であるオーフス市では、高齢者部門の職員がフルタイムに換算して約5千人います。

一方、日本では福祉の面で比較的高いレベルにある鷹巣町の場合は、ホームヘルパーが現在フルタイムで34人、それに特別養護老人ホーム総合病院、来年4月に新しくスタ

トするケアタウンの職員を加えると、高齢者のお世話をする人数は350人から400人くらいになるかと思えます。

これをオーフス市の場合と比較すると、鷹巣町の場合でもだいたい2分の1程度にしかありません。

そこで、オーフス市ではどのようなことをされているか、まずトーベンさんからお話をお願いします。



ジャーナリスト・大阪大学教授  
おお 大 熊 一 夫 氏

### デンマークの福祉政策

トーベン氏 デンマークは人口250万人、そのうち65万人が67歳以上の高齢者となっています。オーフス市では、67歳以上の高齢者が約3万人いて、何らかのかたちで公的サービスを受けています。

デンマークでは、教育制度が進んでおり、女性の就労率も非常に高いため、親元を離れて生活をする若い人たちが多くなっています。

そのため、親が年をとっても身内からの援助が受けられず、国や地方自治体が高齢者のお世話をするケー



デンマーク・オーフス市  
高齢者委員会委員長  
トーベン・ブランディ・ニールセン 氏

スが増えていきます。

デンマークでは、高齢者のケアを三つの公的機関によって行っています。日本の都道府県にあたる自治体が病院や医療関係の業務を、市町村にあたる自治体が年金やケア付き住宅、在宅ケア補助器具支給などの業務を、国は法律をつくり自治体が行う業務の枠組みづくりをしています。

オーフス市で提供しているサービスは、ごく小さい援助から集中的な手厚い看護や24時間の介護にまでわたっていて、すべて無料で受けることができます。

また、容態が非常に悪化して、在宅のケアを継続できなくなった場合には、ケア付き住宅が提供されます。オーフス市には、ケア付き住宅が約4千戸用意されていて、一般の住宅よりも安い家賃で住むことができます。ここにはナースコールが取りつけられていて、24時間いつでも必要なケアを受けることができます。

オーフス市では、サービスを効率的に行うために市を37の地区に分け、

いろいろなサービスを各地区のローカルセンターから受けられるような仕組みをつくりました。

ここでは、利用者が自分たちでいろいろな活動を企画し、その地域の交流の場としても利用されています。

そして、地域の利用者のなかから選挙で選ばれた人たちが組織する利用者代表会があり、ローカルセンターの予算や運営、職員の採用にも発言権をもつて活動しています。

また、その考えを市全体に拡大して、4年前に高齢者審議会を組織しました。そのメンバーは選挙で選ばれた人たちで、市の高齢者政策に発言権をもち、高齢者分野の予算についても市議会と一緒に検討するという権利をもつて活動しています。

大熊氏 今のお話のなかで、利用者代表会と高齢者審議会は、住民参加のシステムを社会のなかに組み込んでいるという点で、大変すばらしいところだと思いました。

これほどの手厚い公的福祉サービスのなかで、ボランティアはどのようなに活用されているのでしょうか。

### ボランティア活動に市が援助を

トーベン氏 デンマークでは、ボランティア活動に公的機関からいろいろな援助金を支給しています。そして、元気な高齢者の方々、患者さんの身内で組織する患者会、そのほかごく普通のクラブ活動を行っている組織

など、いろいろな方々がボランティア活動にたずさわっています。

キャスティン氏 オーフス市には、高齢者のためのボランティア組織が

百くらいあり、約2千人の方々が参加しているのではないかと思います。そしてその方々と一緒になって、特に一人暮らしの孤獨な高齢者のために、いろいろな活動を行っています。



デンマーク・オーフス市  
保健福祉課長  
キャスティン・ヨーゲンセン 氏

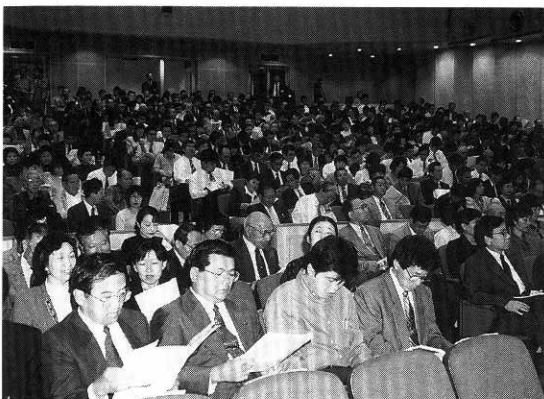
大熊氏 市が行っているボランティア活動への援助は、具体的にどのようなものでしょうか。

キャスティン氏 ボランティア活動のためにローカルセンターを提供したり、組織の運営費や企画に対する援助などを行っています。

また、ボランティア活動を援助するために、市から職員を派遣したりすることも行っています。

### 利用者との対話を大事に

大熊氏 オーフス市では、税金を効率的に使って福祉行政を行うために、どんな努力をしているのでしょうか。トーベン氏 私たちは、今年から



全国からの参加者は熱心に聞き入っていました

サービスの質に関する30項目にわたる詳しい調査を行っています。これにより、37のローカルセンターのサービスの状況を把握し、均等でよりよいサービスの提供のために努力をしています。

キャスティン氏 また、どのようなサービスを行っているかという調査利用者からの満足度の声を聞く調査なども行っており、私たち行政としては、常に利用者との対話をもつことを大切にしています。

大熊氏 高齢者が人間らしく生活するためには、お世話をする人数が多くなければなりません。その点で、日本では進んでいる鷹巣町でさえも、オーフス市に比べると半分なのです。ようやく世界の二流に近づける程度のものなのだというのを、私は最後に強調したいと思います。

本日のこの議論は、私たちにとつて明日のための議論であり、皆さんの町の明るい老後を築くための糧にしていただけだと思っております。

**基調講演**  
**『痴呆性高齢者のデイケアとグループホームケア』**  
 スティナ・クララ・ヒュルストローム氏

スウェーデンでも1980年以前は、痴呆について十分な知識がまだありませんでした。

当時、家族介護者は痴呆をかかえていることに悲しみと負い目を持ち、痴呆性高齢者を家に閉じこめたり、介護が限界になると高齢者を大規模な精神病院に入れたりしました。

彼らは介護に疲れきって、介護者自身も病院に入らざるをえないような状況に追いこまれていました。

その時期、私はスウェーデンの老人医療福祉の権威者であるラース・ベルネソン博士のもとで働き、とても大きな経験をしました。

博士は、高齢者の中に残された能力に注目し、高齢者を一人の人格をもった人間として見つめ向き合い、さまざまな行為を強制しないこと、それが、良いケアを進める重要な姿勢であることを教えてくれました。

そのような背景のなかで、私は1982年にスウェーデンで最初の痴呆症の人のためのデイケアセンター「クロツカルガルド」を始めました。



スウェーデン痴呆症協会  
 理事長  
 スティナ・クララ・ヒュルストローム 氏

私たちは、痴呆を完全に治したりはできませんが、適切な環境と正しい対応によつて、痴呆の症状を十分に軽減させることができます。

私たちのケアの考え方は、とても単純です。私たちは、痴呆性高齢者と昼の間楽しく過ごします。そうすることで、家族介護者は休息をとることができ、また痴呆の方と継続して生活することが可能となります。

私たちは長い経験から、痴呆性高齢者は住み慣れた環境のなかで生活を続けられるあいだが一番幸せだということです。

しかし、それは一緒に暮らしている家族が、どこまでそれに耐えられるかということにかかっています。

だからこそ、デイケアが重要なのです。それによつて、痴呆性高齢者は豊かな生活を送ることができ、介護者もまたさまざまなサポートを受けることができるようになります。

痴呆性のケアでは、痴呆を早期に発見し対応することがとても重要です。そうすることで、痴呆性高齢者自身

だけではなく、在宅の介護者にも早い段階で手助けをすることができるようになります。

しかし、在宅でのケアが限界に達した時には、グループホームでのケアが必要になってきます。そのグループホームの居住環境は、これまでの日常生活に近くなければならず、その規模は最大でも8人から10人と小さくなければなりません。

また、そこでの職員は、特別な教育を十分に受け、辛抱強い性格で、痴呆のケアに喜びを感じなければなりません。そして、質の高いケアを続けていくためには、継続的な研修やリーダーの指導が必要となります。

もうひとつ大切なことは、地域に暮らすより多くの人たちが、痴呆性高齢者のケアに関心を持ち、積極的にかかわっていくということです。

幹や枝が増えるほど、豊かな花や果実が多く実るように、より多くの人がこのような活動に参加していただくことが、ケアの質を保障していく一番の近道ではないかと思えます。



建築家・京都大学  
 外山 義 氏

# 新しい栄橋が完成 地域ぐるみで喜びの渡り初め

秋田県が県道大館鷹巣線の米代川に架け替え工事を進めていた新しい栄橋が完成し、10月26日に開通式が行われました。

開通式には、国・県や町、工事関係者など、およそ80人が出席して神事やテープカット、渡り初めなどを行い、新しい橋の完成を祝いました。

県道大館鷹巣線は、大館市根下戸新町を起点に、鷹巣町松葉町を終点とする延長21・1キロメートルの一般県道で、栄の摩当地区と町の中心部を結ぶ、住民生活に無くてはならない唯一の生活道路ともなっています。

これまでの栄橋は、昭和26年に架けられたもので、幅員が4・3メートルと狭く車両の交差がむずかしいため、早急な改良が求められていました。また、栄橋がある付近の米代川は未改修の状況にあり、たび重なる洪水に悩まされていました。そのため県では、建設省が進めて



2組の三世代夫婦が渡り初め



テープカットと、かわいらしい子どもたちのくす玉わり

いる米代川の築堤工事に合わせて、新しい橋の設置を計画し、平成3年度から架け替え工事を行ってきました。新しい栄橋は、延長が263・2メートル、幅員が12・5メートルで、両側には幅2・5メートルの歩道が設置されています。

この日は、時おり強い雨が降るあいにくの天気となりましたが、新しい栄橋の完成を祝うため、地元の人たちもたくさん訪れました。

開通式では、神事による安全祈願祭のあと、関係者によるテープカットと東保育園の園児たちによるくす玉割りが行われました。

続いて、東小学校の児童たちによる鼓笛隊の先導で、日下部利吉さん（太田屋敷後）と大川春吉さん（坊沢）の三世代夫婦を先頭に渡り初めが行われ、地域ぐるみで新しい橋の完成を喜び合いました。

## 町長日誌

10/16  
31

16日（金）介護保険制度トップセミナーに出席。

16日（金）能代山本フォーラム21に出席。

17日（土）これからの農業のあり方を提案する『アグリニック'98』に出席、「農業の達人からノウハウを取り入れ、自分のものにしてほしい」とあいさつした。

18日（日）金沢恵美子民謡25周年と金沢晴子新曲記念発表会に出席し、激励のあいさつをした。

19日（月）秋田県町村会総務委員会に出席。

19日（月）坊沢地区の農業集落排水事業同意書伝達式に出席、地元の合意形成に感心し「確かに同意書を受け取りました。協議のうえ事業化に取り組みたい」と述べた。

20日（火）第16回鷹巣町長杯兼第10回鷹巣町GB選手権鷹巣町民ゲートボール大会に出席、来年度オープンをめざす『ケアタウンたかのす』の工事経過等を述べ、選手を激励した。

21日（水）介護保険制度北鹿地域市町村連絡調整会議に出席。

21日（水）あきた北空港ターミナルビル取締役会に出席。

21日（水）第26回鷹巣町健康大学（坊沢地区）閉講式に出席。

22日（木）第1回介護認定審査会に出席。

25日（日）南鷹巣町内会の秋のレクリエーションに出席。

26日（月）県道大館鷹巣線「栄橋」の安全祈願祭、開通式典、開通祝賀会に出席。

27日（火）北秋田広域市町村長会議に出席。

31日（土）第30回鷹巣町文化祭の開会式に出席。

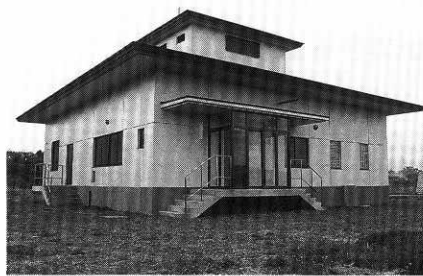
# 脇神地区農業集落排水事業が竣工

— 町で初めての完成を祝う —

11月4日、脇神地区農業集落排水事業の竣工祝賀会が沢口林業センターで開かれ、地元住民をはじめ、町や施工業者など関係者およそ100人が出席しました。

同地区の農業集落排水事業は、地元からの要望を受けて、平成8年9月から工事が行われていたもので、今年の6月から供用が可能となっていました。

この事業は、脇神、上野地区の84戸が対象となっていますが、現在38戸の家庭での使用が始まっており、し尿や生活雑排水の一括処理により、地域の水質保全と生活環境の向上に期待が寄せられています。



完成した農業集落排水処理場

ています。

この日の祝賀会では、はじめに中島光雄自治会長が「地区住民の念願だった農業集落排水事業が竣工し、あきた北空港の完成と合わせて二重の喜びとなった。21世紀をみすえ、空港の地元集落として、これからも町の発展に尽くしていきたい」とあいさつ。

つづいて、岩川町長が「この地域は、いろいろな整備が順調に進んでおり、将来は町の中心となる可能性を秘めている。これからも地域のまとまりと熱意で、町をリードして行ってほしい」とお祝いのことばを述べ、出席者は、町で初めての農業集落排水事業の完成を喜び合っていました。



農業集落排水事業の完成を祝った竣工祝賀会

# 受賞おめでとうございます

## 鷹巣町芸術文化奨励賞 受賞者紹介 産業祭農産物・生活工夫展

10月31日から開かれた第30回鷹巣町文化祭と第15回鷹巣町産業祭で、鷹巣町芸術文化奨励賞と農産物・生活工夫展の受賞者が発表され表彰式が行われました。

芸術文化奨励賞は、県レベルの展覧会等で優れた成績の方に贈られるもので12人が受賞しました。

また、農産物・生活工夫展では、優れた農産物や作品を出品した8人が金賞を受賞しました。

受賞者は次の方々です。(敬称略)

【鷹巣町芸術文化奨励賞】

▽俳句部門Ⅱ五代儀恵子

▽民謡部門Ⅱ成田堅三、河田侑子

▽詩吟部門Ⅱ桜庭正悦

▽工芸部門Ⅱ花田陽子、高橋真弓、阿部貞子、三国作智子、佐藤晴子

▽洋画部門Ⅱ石川智英

▽写真部門Ⅱ野宮幸博、

▽美術部門Ⅱ河田瑞希

【農産物の部】

▽金賞Ⅱ斉藤彦次郎(水稲)、布

田トシ(ネギ)、碓谷タミ子(山

の芋)、米沢真子(シシトウ)、

佐藤トヨ(ハクサイ)、戸島宇一

郎(生シイタケ)

【生活工夫の部】

▽金賞Ⅱ千葉イエ(おやき)、神

成君子(千ふき三色煮)



芸術文化奨励賞を受賞した五代儀恵子さん



産業祭農産物・生活工夫展にはたくさんの人が熱心に見入っていました

# 健康広場

福祉保健課からのお知らせ

## 献血日程

11月19日(木) 成分  
10:00~16:30 鷹巣町役場

11月24日(火) 全血  
10:00~13:00 鷹巣農林高校  
14:00~15:00 鷹巣警察署・消防署  
15:10~16:00 信用組合

# ひとりで食べられるかなあ？ ちゃんと

子どもの将来にとって、よい生活習慣はとても大切です。悪い習慣は、後でなおそうとしてもなかなかおりにくいものです。小さいときからよい生活習慣を、身につかせましょう。

### ひとりで食事ができるように

2歳頃になれば、スプーンやはしを使えるようになり、一人で食事をしようとしてます。子どもが食べているそばから、うるさく注文をつけたり、手伝ったりするのは禁物です。ときには大人の応援も必要です。自立させるには、楽しい食事の雰囲気と大人の優しい励ましが何よりも大切です。

### 栄養のバランス

栄養のバランスをきちんと考え、「量」より「質」の方に気をつけることが大切です。

また、幼いときから残さずきれいに食べる習慣をつけましょう。

### おやつも考えて

食事をあまり食べないという子どもには、甘いおやつをいつも口にしていくケースが多いようです。食事の前に甘いものを食べれば食欲が落ちるのは当然ですし、歯の衛生にもよくありません。おやつは規則的に、甘いものをとりすぎないように注意して与えるようにしましょう。



### 食事時間もほどほどに

子どもの中には、だらだらと食事をし、他の子どもの2倍も時間がかかる子がありますが、これは良くない習慣です。

幼児期には、30分前後に食べられるようにしつけましょう。



## 平成10年度生き生き健康教室

場所：鷹巣町保健センター

時間：午後1時～3時

### 第2回

11月26日(木)

●健康劇 「痴呆ねたきり予防」

●『介護保険って どんなくみ』福祉保健課介護特別対策室長 小野 博史氏

●『これからの生活設計 生活習慣と健康づくり』鷹巣保健所長 岡村 昌幸氏

### 第3回

12月 2日(水)

●シンポジウム 「健康づくりグループ・体験交流」

・生命の貯蓄体操の会 ・食生活改善トマトの会 ・さぶる学級 ・歩みの会

・子育てサークル ・介護者の会

### 第4回

12月 9日(水)

健康メモ 映写「食物繊維」保健婦

●『がん予防について』-がんから家庭を守るう-

たむら内科クリニック院長 田村豊一氏

### 第5回

12月17日(木)

●『健康づくりと運動』スポーツコンサルタント(健康運動指導士)柴田栄宜氏

※どなたでも、ご自由に参加下さい。

◎お問い合わせ 鷹巣町保健センター ☎62-6666

# 11月の健康ごよみ

◎お問い合わせ  
鷹巣町保健センター ☎62-6666

※特に場所の指定のない日程はすべて保健センターで行います。

## 予防接種（ツベルクリン反応、BCG）

- 日程** 17日（火）鷹巣地区……ツベルクリン反応検査  
野口博生、石川馨、津谷泰夫、田村豊一  
18日（水）鷹巣地区以外…ツベルクリン反応検査  
藤原高司、盛岡敬二、佐々木勝次、津谷泰夫  
19日（木）鷹巣地区……BCG  
奈良正人、野口博生、津谷泰夫、田村豊一  
20日（金）鷹巣地区以外…BCG  
戸嶋信男、佐々木勝次、石川馨、遠藤勝實
- 時間** 受付 午後 1：00～1：30  
**持参** 母子健康手帳・予診票

## 健康相談

### ◎定例健康相談（保健センター）

- 日 程** 25日（水）  
**時 間** 午前10:00～12:00 午後1:00～3:00  
**内 容** 健康相談、血圧測定、尿検査  
健康教育「腎臓病を予防する日常生活」

### ◎いきいき健康相談（鷹巣町訪問看護ステーション）

- 日 程** 毎週火金 午前9:30～午後4:00  
（祝日を除く）  
**内 容** 血圧測定など

## 夜間当番医（夜間診療）日程表

（午後6時30分～9時）

日	曜	医 療 機 関 名	電話番号
15	日	津 谷 内 科	62-2261
16	月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
17	火	近 藤 医 院	62-1155
18	水	北 秋 中 央 病 院	62-1455
19	木	藤 原 医 院	62-2882
20	金	佐藤外科消化器科医院	62-1420
21	土	たむら内科クリニック	63-2700
22	日	遠 藤 クリニッ ク	63-0515
23	月	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
24	火	奈 良 医 院	62-1146
25	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
26	木	盛 岡 外 科 医 院	62-1101
27	金	と し ま 医 院	62-1267
28	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
29	日	北 秋 中 央 病 院	62-1455
30	月	近 藤 医 院	62-1155

◎応急の診察を要する患者。  
◎往診はしておりません。  
◎仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

## 難病療養相談会

- 日 時**：平成10年11月17日（火）10時～12時  
**会 場**：鷹巣町  
鷹巣阿仁広域交流センター  
**対象者**：難病をわずらっておられる方やそのご家族  
**内 容**：保健・医療・福祉に関する相談会

## 妊婦の方

### ◎母子健康手帳交付と第1回母親学級

- 日程** 16日（月）  
**時間** 受付 午後 1：00～1：10  
終了 午後 3：00頃

**持参** 印鑑

### ◎両親学級

- 日程** 28日（土）  
**受付** 3日前まで申し込みください  
**時間** 午前 9：30～12：00

**持参** 母子健康手帳・テキスト

※ご主人・おばあさんなどご参加ください

## 平成10年7月生まれのお子さんのいる方

### ◎4か月児健康診査

- 日程** 24日（火） 受付 午後1：00～1：10  
**持参** 母子健康手帳・アンケート票  
バスタオル

## 平成10年4月生まれのお子さんのいる方

### ◎7か月児育児相談

- 日程** 24日（火） 受付 午前9：30～9：40  
**持参** 母子健康手帳・アンケート票  
バスタオル

## 生命の貯蓄体操の日程

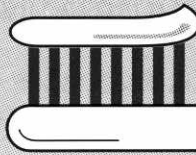
### ◎各会場の日程と時間

- （午前9時半～11時半）  
鷹巣町保健センター 16・30日  
綴子基幹センター 18・25日  
坊沢公民館 18・25日  
七日市基幹センター 19・26日  
葛黒林業センター 19・26日  
青葉荘 20・27日  
（午後7時～9時）  
地域福祉センター 18・25日  
沢口林業センター 19・26日  
栄生活改善センター 17・24・30日

平成10年度の

予防接種の全日程表は  
鷹巣町保健センターにあります

Brushing!



# 虫歯のない子

健康はよい歯から



これからも  
歯を大切にネ

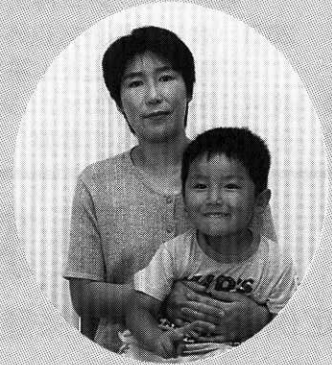
●●● 9月2日  
11月4日の3歳児健診から ●●●



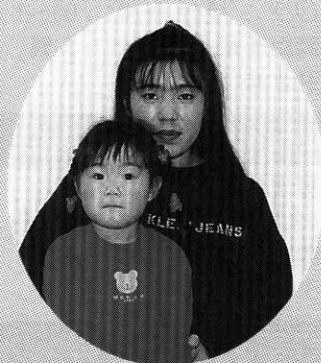
内幸町  
かねこ あゆみちゃん



南鷹巣  
けんもく さきちゃん



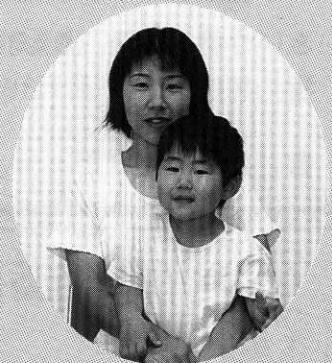
下舟木  
ふじわら たけはるちゃん



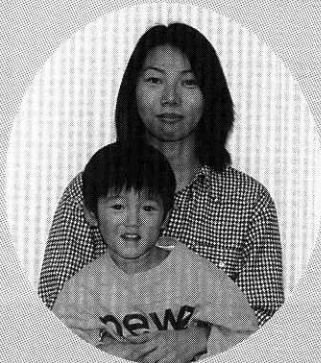
妹尾館  
さとう あやかちゃん



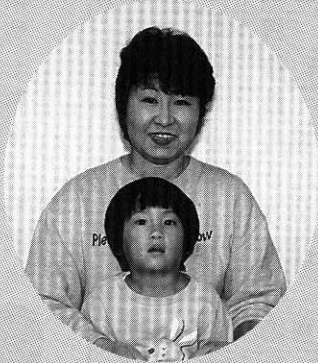
松葉町  
くしま しおりちゃん



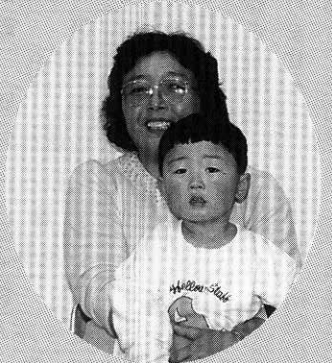
高野尻  
たけや かいとちゃん



あけほの町  
はやかわ ゆうきちゃん

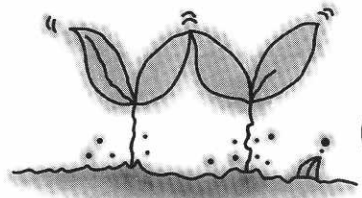


深 関  
まつおか なつみちゃん



前 山  
おがさわら たかよしちゃん





# 福祉メモ

## 全国在宅ケアアサミットに参加して

福祉のまちづくりワーキンググループ福祉行政サービス

去る10月9・10日の2日間、当町を会場として開催された「第5回全国在宅ケアアサミット」は、平成12年度から始まる介護保険制度も、実施までに1年半を残すのみとなったが、取り組むべき課題が山積しており、

これらの諸問題を取り上げ円滑なる実施を目指して、国内外から福祉・医療・保健の専門家らが参加し、さまざまな角度から話し合われましたが、私達ワーキンググループも民生児童委員や社会福祉協議会関係者・ボランティアグループとともに、受付・案内・接待・進行・視察・コーナー係と6部門に役割分担をし、裏方として務めました。

初日は、雨が心配されましたが、朝方晴れ上って、さわやかな天気となり笑顔をもって接することができました。

ファルコン・交流センター両会場とも超満員で、私達は、時折暇をみて、場外の小さなモニターテレビによつて、断片的にかいま見る程度であったが、心に残るものがありました。

「サービスなくして保険なし」、「ボランティアなどによる心の交流サービスも必要」、「首長のやる気が一番大事」、「計画策定・進行管理・苦情処理・時後評価等各段階においても住民の直接参加が必要」、「オンブズマン制度の設置を」、「どんなサービ

スができるかその地域の特色ある措置を」、「各自自治体間のサービスの格差が明確に表れる」、「介護サービス制度は極めて有望な成長産業で、新しいビジネスチャンスが到来する」等々。

パネルディスカッションでは、ワーキンググループの活動状況の報告もなされましたが、先進的な福祉政策と住民参加の実践が評価されている当町は、今後ますます全国的に注目をあびることになることでしょう。



### 第2班

島山喜代治(文)

河田利一郎

根本 邦堆

岩谷 フユ

**魔法の容器**  
(生ごみ処理容器)

この容器はバイオ（微生物）を空気に触れさせることで有効に使い、最大限に活動させて生ごみを分解し、減量させるものです。

- ・生ごみ分解率は90% ・減量が速い(20日で1/3に)
- ・臭いはほとんど無し ・ウジ虫ゼロ
- ・バイオは1か月625円程度の経済性

近年の生活水準の向上にともない、排出されるごみの種類や量は年々増加する傾向にあります。

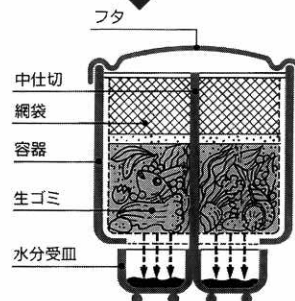
また、家庭から出る燃やせるごみの多くは、台所の生ごみで占められています。

町では、家庭から出る生ごみを処理できる「魔法の容器（コンポスト）」をあっせんします。

魔法の容器は、バイオ（微生物）を使って、清潔で、しかも経済的に生ごみを肥料にリサイクルします。



中は？



外寸：35cm(ヨコ)×46cm(タテ)×65cm(深さ) 65ℓ入  
中のしくみはこうなっています



**魔法の容器で**

**生ごみの減量を**

あっせん容器	(寸法)	(一般小売価格)	(町補助額)	(個人負担額)
○魔法の容器(屋内型)	タテ 35cm ヨコ 46cm 深さ 65cm	13,500円 ↓ 10,500円 (業者割引価格)	6,000円	4,500円

あっせん個数 ※消費税込

○魔法の容器(屋内型) 50基(先着順) 1世帯につき1基  
※各農協支所割当8~9個程度となります。

申込先 J A 鷹巣町各支所 購買課へ  
(必ず印鑑を持参ください)

支払方法 現金支払もしくは農協口座振替

申込期間 11月20日(金)~11月27日(金) 土日祭日を除きます

引渡し方法 申し込みから1か月程度で各家庭に配置します。

※お問い合わせは役場住民生活課環境生活係 ☎62-1111 内線128・129へ

**税務課からのお知らせ**

**個人水利施設  
代表者の皆さんへ**

町では、来年1月下旬より平成10年分の申告相談を予定しておりますが、農業所得者で共同水利施設(揚水施設等)を利用し負担金を支払っている方は、申告時に必要経費として控除することができます。

ただし、水利施設の代表者の方があらかじめ「水利費(揚水施設等)の計算書」を提出し、手続きしなければならぬことになっています。

昨年提出していただいた代表者の方には、用紙を送付しておりますので、11月末日までに忘れずに提出してください。

また、今年新たに始められた方や昨年提出しなかった方には用紙を送付できませんので、経費の領収書、償還金年次表、購入証明書、代表者の印鑑等を持参のうえ、11月末日までに税務課町民税係で手続きしてください。

なお、届出用紙は町民税係に準備しております。

◎お問い合わせは、役場税務課町民税係  
(☎62-1111 内線162・163) まで



## 中央公民館

☎62-1130



## ファルコン

☎62-3311

- 【11月ロビー展】「宮野雄治作品展」  
 12・6（日）高鷹大学文化祭  
 12・13（日）公民館まつりと生涯学習交流会

- 11・15（日）第24回秋田県PTA研究大会  
 大館北秋田大会（関係者）9：30～16：00  
 11・19（木）映画「プラス!」上映会 19：00～  
 前売一般1200円中高900円／自由  
 11・21（土）おはなしでてこい  
 絵本の読み聞かせなど 14：00～15：00  
 11・23（月）第8回鷹巣祇園太鼓審査会  
 無料／自由 13：00～16：00  
 11・29（日）第3回北の杜音楽団コンサート  
 前売当日共350円／自由14：30～16：30  
 11・29（日）たかのす讃歌発表会＆音楽祭  
 無料／自由 19：00～  
 12・5（土）堀部孝子・畠山幸子ピアノ教室合同発表会  
 無料／自由 14：00～17：00  
 12・6（日）ビハラー公開講座（講師岸川悦子氏）  
 無料／自由 14：00～  
 12・12（土）武石真澄・三国作智子ピアノ教室合同発表会  
 無料／自由 13：30～16：00  
 12・13（日）第23回民謡民舞チャリティーショー  
 前売1000円／自由 12：00～16：00



## スポーツ

☎62-3800

- 11・15（日）大館北秋剣道連盟昇段審査会 鷹巣体育館  
 11・22（日）鷹巣町バドミントン総合選手権大会  
 鷹巣体育館  
 11・28、29、30（土～月）県北高校新人バスケットボール  
 大会 鷹巣体育館  
 12・5（土）、6（日）全県高等学校新人剣道大会  
 鷹巣体育館

～小さな手帳に豊富な情報～

1999（平成11年版）

## 『県民手帳』



（価格500円）

はいかがですか

◎お申し込み 役場総務課文書統計係

（☎62-1111 内線223）

※役場の住民生活課・会計課・

各公民館窓口

でも購入できます。

### 人口と世帯数

総人口	22,715人（1人減）
男	10,882人（2人増）
女	11,833人（3人減）
出生	9人 転入 60人
死亡	23人 転出 47人
世帯数	7,588世帯（4世帯増）

10月31日現在  
 住民基本台帳による

## 第8回 鷹巣祇園太鼓審査会

### 太鼓練習にご理解とご協力を

町内各小学校の太鼓クラブと父母の会では祇園太鼓審査会に向け練習に励んでいます。夜間の練習は、近隣の方々に大変迷惑をおかけしていることと思いますが、どうぞご理解とご協力をお願いします。

- 目 時／11月23日（月）PM1：30～
- 会 場／たかのす風土館（ファルコン）
- 入場料／無料
- 主 催／鷹巣祇園太鼓審査会実行委員会
- 後 援／鷹巣町教育委員会

《練習日》※時間は夜7：30～8：30

西 小（月曜日）	東 小（火曜日）
綴子小（水・木曜日）	竜森小（金曜日）
南 小（土曜日）	中央小（土曜日）
鷹 小（土曜日）	

**おねがい** 納期限 11月30日  
**個人事業税(2期分)の納税はお済ですか？**

納税には安全で便利な口座振替をご利用ください。  
 ◎お問い合わせ先 大館市片山町3-14-5  
 秋田県北秋田県税事務所 ☎0186-49-2211

**おねがい**  
**年末調整説明会を開催します**

大館税務署では源泉徴収義務者に対する年末調整説明会を次の日程で開催します。  
 ●期日 平成10年11月16日(月) 午前9時30分～12時 午後1時～3時30分 場所 鷹巣阿仁広域交流センター

**ぜんい** ありがとうございました  
**香典返し**

- 太田 貞雄さん(糠 沢)から亡母 イフさん
- 畠山 秀光さん(藤 株)から亡父 幸一郎さん
- 佐々木志保子さん(新舟見町)から亡夫 秀司さん
- 間瀬 勲助さん(小 森)から亡妻 ユリさん
- 藤本 竹紫さん(新田中)から亡兄の妻 ツエさん
- 高橋 允さん(旭 町)から亡母 エツさん
- 成田 光行さん(新屋敷)から亡母 キフさん
- 中島 正彦さん(松葉町)から亡祖母トヨさん

**善意**  
 ●朝日新聞論説委員大熊由紀子さんから一般寄付として20万円

**おねがい**  
**町営住宅の入居者を募集します**

南鷹巣団地(簡易耐火造2階建)3戸  
 南鷹巣団地(木造平屋高齢・障害者世帯用)1戸  
 ●家賃 月額14,000円から  
 (入居世帯の所得等により算定されます)  
 ●敷金 家賃の3か月分  
 ●受付期間 平成10年11月16日(月)～11月25日(水)まで(土、日、祭日は除く)  
 ◎お問い合わせ 役場建設課住宅公園係  
 ☎62-1111 内線292・293まで

**おねがい**  
**住宅需要実態調査にご協力を**

建設省及び県では、12月1日に県内各地において「平成10年住宅需要実態調査」を行います。この調査は皆さんが、住宅について日頃どの様に考えているかなどを伺うもので、住宅施策を行う上で重要な資料となるものです。11月24日から12月10日までの間、一定の抽出方法により無作為抽出した世帯の方に、統計調査員証を持った調査員(役場職員)が訪問します。また、対象となった世帯のまわりの方々にも調査に伺いますので、ご協力をお願いします。

**臨時福祉特別給付金の  
 申し込み期限は  
 11月30日までです**

**年金だより**

～国民年金保険料の納め忘れはありませんか～

国民年金の第1号被保険者の、保険料を毎月キチンと納めていますか。

納め忘れがありますと、将来の老後の支えとなる老齢基礎年金が納付期間不足により受けられなかったり、あるいは減額されたりします。

また、万一病気やケガをしたときの障害基礎年金や、不幸にして一家の大黒柱であるご主人がなくなられたときの遺族基礎年金が受けられないなど、最悪のケースを招くことがありますので、納期限を守り忘れずに納めましょう。

なお、保険料を納めることで、あなた自身の年金の受給権を確保することはもちろん、現在、受給さ

55号



れている方々の「世代と世代の支え合い」として、あなたの保険料が大きな役割を担っております。

そこで「ついうっかり」とか「忙しくて…」などの納め忘れを防ぐため、銀行などの預金口座から毎月自動的に引き落とされる口座振替制度をご利用下さい。

金融機関に国民年金保険料納付書・預金通帳・印鑑をご持参のうえ、手続きして下さい。ぜひ、便利で安心な口座振替を利用して確実な保険料納付をしましょう。

## 慶弔だより

10月15日～31日まで届出分・敬称略



お誕生おめでとう  
ございます

村上 奈緒 (繁治) 長女 掛 泥  
安井 南海 (一也) 長女 内 幸 町  
七尾 健太郎 (弘樹) 二男 新 田 中  
上山 雄大 (正直) 長男 綴子下町  
美佳子



お二人の前途を  
祝福します

石 田 隆 成 あげぼの町  
木 村 尚 子 合 川 町  
宮 野 幸 男 綴子下町  
布 施 優 子 大 館 市  
三 沢 晃 一 大 堤  
佐 藤 具 子 大 館 市  
吉 岡 史 裕 米 代 町  
寺 山 経 子 山 本 町

おくやみ申し上げます

櫻庭 正二 (81歳) 蟹 沢  
中嶋 トヨ (94歳) 綴子下町  
中嶋 留藏 (82歳) 川 口  
木村 清 (69歳) 宮 前 町  
佐藤 信一郎 (75歳) 綴子下町  
畠山 ハルノ (90歳) 舟 場  
工藤 イマ (69歳) 住 吉 町  
堀部 日三郎 (77歳) 葛 黒

## 税の納期限

国民健康保険税5期

11月30日まで



のこば



全国から「農業の金メダリスト」たちが集合して、「アグリニック'98」が10月17日、たかのす風土館を会場に開催されました。

この「アグリニック」は、農業をとりまく環境がきびしいなか、日本の各地で活躍している金メダリストたちの先進的な事例に触れることで、活力のある“鷹巣農業”をきずきあげようと開かれたもので、町内外の農家や農業関係者など約500人が参加しました。

参加した人たちは、俳優でエッセイストの渡辺文雄さんによる記念講演や、大島綴子さんと金メダリストたちによる意見交換に、時おりメモをとりながら熱心に聞き入っていました。

(詳しくはP 2～7ページ)

## 中央公民館自然観察特別講座 参加者募集

### 「尾瀬を訪ねる」

- 日程 平成11年6月8日(火)～11日(金) 3泊4日
- 交通機関 マイクロバスを予定
- コース  
 (1日目) 東北自動車道～「会津若松」～「檜枝岐」～「沼山峠」～「尾瀬沼」(長蔵小屋)泊  
 (2日目) 「尾瀬沼」～「尾瀬ヶ原」～「三条の滝」～「ヨッピー吊橋」～「竜宮」～「尾瀬ヶ原」(第2長蔵小屋)泊  
 (3日目) 尾瀬ヶ原散策～「山の鼻」～「鳩待峠」～「日光」～「鬼怒川温泉」泊  
 (4日目) 「鬼怒川温泉」～「那須高原」～東北自動車道
- 参加者 21名 ※健康で長時間の歩行に自信のある方
- 経費 5万円以内(交通費、宿泊費、昼食代など含む)
- しめきり 平成10年11月30日

◎お問い合わせ 鷹巣町中央公民館 ☎62-1130

# 12/13 (日)

9:30~17:00

テーマ

鷹巣町中央公民館

「みんなでつくる生涯学習～人の輪から地域の和へ」

## 第16回鷹巣町公民館まつりと生涯学習交流会

### 開会行事

9:30~

### パネルディスカッション

10:00~12:00

#### 《私の生涯学習と地域への広がり》

提言者 藤田 寿人氏 (ヤング野外コンサート実行委員長)  
 畠山喜代治氏 (高鷹大学運営委員・花いっぱい運動会長)  
 伊藤 倫子氏 (国際交流活動)  
 佐藤 繁子氏 (朗読ボランティアやまびこ)

司会 中嶋 敏寛氏 (公民館運営審議会委員)

### アトラクション

12:10~

昼食

12:30~

演奏 祇園太鼓

講座実演 ハーブ教室

### 学習活動の発表・提言

13:30~15:00

- ・町教委生涯学習課文化遺跡係
- ・ホークスアカデミー
- ・バレーボール鷹巣愛好会代表
- ・花いっぱい運動推進者(太田フラワーセンター)
- ・鷹巣中学校3年
- ・鷹巣南中学校2年
- ・定期講座(ふれあい自然体験教室)代表

奥山 一絵氏  
 佐藤喜美男氏  
 松尾 絢子氏  
 佐々木祐輔さん  
 長岐みなみさん

**手づくり屋台、演奏やダンス等たのしい企画がいっぱい!  
どなたでも気軽に参加して交流しましょう。**

### 交流会

15:00~

#### 演 示

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ①中央公民館定期講座  | 「唱歌を歌う講座」        |
| ②綴子・中央定期講座  | 「リフォームファッションショー」 |
| ③中央公民館定期講座  | 「中国語に親しむ講座」      |
| ④健康太極拳鷹巣友好会 | 「太極拳」            |
| ⑤七日市公民館定期講座 | 「カリニオサダンス」       |
| ⑥高鷹大学       | 「大正琴」            |

### 展示

ハーブ・油絵・盆栽・陶芸・ふれあい手づくり品・切り絵・写真・写経・ちぎり絵・パッチワーク・七宝焼・等公民館講座や高鷹大学・自主講座などの作品を展示します

どなたでもお気軽に・・・

### ◎お問い合わせ参加申し込み

参加費 ◆昼食 500円(当日受付) ◆交流会 1,500円(当日受付)

申し込み書にご記入のうえ、12月4日(金)まで、鷹巣町中央公民館(☎62-1130)へお申し込みください。※申し込み書は中央公民館にあります。

主催：鷹巣町生涯学習推進本部・鷹巣町教育委員会・鷹巣町中央公民館各地区公民館